

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-109	高等学校	地理歴史科	世界史探究	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	世探-703	新詳世界史探究		

1. 編修の基本方針

●教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

(1) 古代からグローバル化を迎えた現在までの多様な世界の成り立ちについて理解を深め、国際社会の平和、持続可能な開発と発展に寄与する態度を養う教科書

- ・多様な世界の成り立ちとそこに暮らす人々との共生、国際協力の重要性を理解できるよう、2部では諸地域の歴史的特質の形成を、3部では諸地域の交流やつながりの歴史を、4部では世界の結びつきのなかで起こった戦争と平和への取り組みを、5部では現代世界の課題と解決に向けた取り組みを丁寧に取り上げた。
- ・災害や環境破壊、人権など、持続可能な開発目標に関する歴史的事象を紹介するコラム「SDGs を考える世界史」を1～5部に設置した。
- ・国際紛争など、現在のさまざまな諸課題をテーマとして、これまでの学習を踏まえて歴史的経緯を理解できるように5部でコラム「ケーススタディ 現代の諸課題を考える」を設置した。
- ・多様な世界の成り立ちについて深めるために、さまざまな人々の立場を踏まえて多面的・多角的に考えることができるよう、2～5部でコラム「視点を変えて」を設置した。
- ・現在までの世界の一体化の過程や諸地域の相互関係が分かる特設「結びつく世界」を設置した。

(2) 思考力・判断力・表現力を育成する教科書

- ・思考力・判断力・表現力を育成することができるよう、学習を見通す「章の見通し」「節の課題」、学習内容を振り返る「問い」「節のまとめ」「章の振り返り」などを随所に設置した。
- ・歴史的事象の特徴を考察する力を育成できるよう、写真や図表、史料の読解を促す「読み解き」を随所に設置した。
- ・思考力・判断力・表現力を育成できるよう、複数の資料を読み解き、歴史的概念について理解を深めたり当時の社会の特徴及び課題を考察したりする特設「探究 TRY」「文化から見る当時の社会」を設置した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1部 世界史へのまなざし 1章 地球環境からみる人類の歴史 2章 日常生活からみる世界の歴史	●人類史を地球史の一部として関連づけ、地球上過去にあった気候変動と人類の進化について丁寧に解説することで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した(第4号)。 ●過去における女性の立場や社会的性差のあり方の変化を丁寧に解説することで、男女の平等を重んじ、公共の精神に基づいて、主体的な社会の形成に参画できるよう配慮した(第3号)。	p.6-9 p.10-11
2部 諸地域の歴史的特質の形成 複数の資料を読み解いて問いを表現しよう 序章 古代文明の歴史的特質	●諸地域の歴史的特質やその成り立ちを丁寧に扱うことで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した(第1号)。	p.16-98

<p>1章 東アジアと中央ユーラシアの 歴史的特質</p> <p>2章 南アジアと東南アジアの 歴史的特質</p> <p>3章 西アジアと地中海周辺の 歴史的特質</p>	<p>●諸地域を学ぶ最初のページでは、地域の地理的特色や風土、文化について小見出しを設けて丁寧に解説することで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した(第4号)。</p>	<p>p.18,20, 21,30,48, 54,57,85, 93</p>
<p>3部 諸地域の交流・再編</p> <p>複数の資料を読み解いて問いを表現しよう</p> <p>1章 ユーラシア大交流圏の成立</p> <p>2章 アジア諸地域の成熟と ヨーロッパの進出</p> <p>3章 主権国家体制の成立と 交易の拡大</p>	<p>●独自に発展を遂げていた諸地域が交易などで結びつき、世界の一体化が始まったことを丁寧に扱うことで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した(第1号)。</p> <p>●近世のアジアにおいて社会や経済が成熟し、そのなかでも日本では近代化を成し遂げる基盤が形成されたことを解説することで、伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した(第5号)。</p>	<p>p.102- 191</p> <p>p.148, 191</p>
<p>4部 諸地域の結合・変容</p> <p>複数の資料を読み解いて問いを表現しよう</p> <p>1章 環大西洋革命～工業文明と 国民国家の誕生</p> <p>2章 イギリスの覇権と欧米の 国民国家建設</p> <p>3章 世界の一体化の進展と アジアの変容</p> <p>4章 世界の一体化の完成と その影響</p> <p>5章 世界大戦の時代</p> <p>6章 戦後の国際秩序と冷戦</p>	<p>●工業化と産業の発展に伴って発生した公害に関する問題と、その解決に向けた取り組みの歴史を示すことで、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した(第4号)。</p> <p>●普通選挙の広がりや女性の選挙権獲得の歴史、大衆社会の形成と戦争を支持した大衆の動きを丁寧に扱うことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第3号)。</p> <p>●第一次世界大戦後の国際協調の動きやその挫折、また第二次世界大戦の反省を踏まえた国際連合の成立までの流れを丁寧に解説することで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第5号)。</p>	<p>p.194- 196,209- 210</p> <p>p.199- 221,268- 303</p> <p>p.275- 311</p>
<p>5部 地球世界の課題</p> <p>1章 冷戦の展開と平和の模索</p> <p>2章 グローバル化する国際経済と その課題</p> <p>3章 情報と科学技術によって 結びつく世界</p> <p>4章 地球世界の課題の探究</p>	<p>●核開発競争と核実験による汚染について取り扱うほか、地球環境問題に対する世界的な取り組みについて言及することで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した(第4号)。</p> <p>●これまでの学習を活かし、現代の諸課題について生徒自身でテーマを設定し、レポートなどにしてまとめて展望を示す活動を促すことで、その能力を伸ばし、創造性を培えるよう配慮した(第2号)。</p>	<p>p.343- 348</p> <p>p.350- 351</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 教科書全体を通して、QR コンテンツを充実させ、教科書紙面を超えたさまざまな学びに対応できるようにした。特に、「一問一答」「演習問題」は学習内容の定着を図ること、「重要用語」「地図」は学習事項に対する理解を深めること、「動画」「外部リンク」は学習意欲を高めることができるよう、それぞれ配慮した。
- 色覚に特性のある生徒にも配慮し、識別しやすい色を使用した。本文やキャプションなどの文字については、はっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UD フォント)を使用した。
- 環境への配慮として、用紙には古紙を入れるとともに、環境に優しいフレッシュパルプを使用し、かつ裏写りの少ないものを使用した。インキには、再生産が可能な植物油などを原料とするインキを使用した。また、使用期間の間、破損することがないように、堅牢な造りにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-109	高等学校	地理歴史科	世界史探究	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	世探-703	新詳世界史探究		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●現代世界の成り立ちを社会構造の変化に着目してとらえ、グローバル化する国際社会に主体的に参画し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書となるよう以下の点に配慮した。

(1) 社会構造の本質とその変化、現代世界の成り立ちと日本の関わりが理解できる教科書

- ・本文の記述は、全時代において社会構造の本質とその変化が理解でき、各地域の歴史の動きを概観的にとらえられる内容とした。一方、歴史の詳細については側注により理解できるようにした。
- ・コーナー「文化から見る当時の社会」を設け、絵画や資料などの文化作品を読み解くことで、当時の社会の様相や、社会と文化が相互に与えた影響、当時の文化が現在に与えた影響を理解できるようにした。
- ・特設「結びつく世界」を設け、同時代的におこる社会構造の変化を紹介するほか、現在に至る世界の一体化の過程や諸地域の相互関係を理解できるようにした。
- ・コラム「SDGs を考える世界史」を設け、歴史的事象と持続可能な開発を関連付け、課題の解決に向けて考察できるようにした。
- ・5部においてコラム「ケーススタディ 現代の諸課題を考える」を設け、現代のさまざまな諸課題について歴史的経緯を理解できるようにした。
- ・日本と世界の結びつきを意識できるよう、特にアジア史の本文の記述では、日本と世界の動きがどのように影響を与え合ったのか、同時代的な動きを紹介するようにした。
- ・コラム「世界史の中の日本」を随所に設け、当時の日本が世界とどのように結びつき、相互に影響を与えていたかを理解できるようにした。

(2) 歴史的な見方・考え方を働かせ、読解力および思考力・判断力・表現力が育成できる教科書

- ・特設「探究 TRY」を設け、これまで学習した内容を踏まえて、複数の資料を読み解くことで、歴史学習上で重要な概念について理解を深めながら、思考力・判断力を育成できる活動を充実させた。
- ・図表や絵画資料、史料を充実させるとともに、資料読解を促す「読み解き」を随所に設け、資料の比較や関連づけなど、資料の活用を通して思考力・判断力が身につくよう配慮した。
- ・コラム「視点を変えて」を随所に設け、歴史的事象に対するさまざまな見方を示すことで、多面的・多角的に考察する力を育成できるようにした。
- ・2~4部の冒頭の導入ページに「複数の資料を読み解いて問いを表現しよう」のコーナーを設け、これから学習する内容に対して、資料を活用して自分の問いを表現することができるようにした。
- ・各章に「章の見通し」、各節に「節の課題」を設け、どのような点に着目して学習を進めていけばよいのかを示した。
- ・随所に「問い」を設けたほか、各節末には「節のまとめ」を設け、歴史的な見方・考え方を働かせながら自身の考察について表現する活動を充実させた。
- ・各章末には、「章の振り返り」を設け、歴史的な見方・考え方を働かせ、学習した内容と根拠をもとに、歴史的事象について生徒自身の考察を表現する活動を充実させた。
- ・QRコンテンツとして、思考力・判断力・表現力の基礎となる「一問一答」と、それを活用する「演習問題」を用意し、学習内容の定着を図ることができるようにした。

(3) 歴史の流れがわかりやすく、中学校や歴史総合との学習の接続を意識した教科書

- ・本文は因果関係を重視して歴史の大きな流れがわかりやすいよう記述し、補足的な事項や詳細な内容は側注に書き分けた。また、学習内容のポイントを押さえることができるよう小見出しごとに要約文を設置した。
- ・関連する本文記述の近くに、用語を解説するコラム「キーワード」を配し、歴史的概念や経緯の理解が深まるようにした。また、QRコンテンツとして「重要用語」を設置し、世界史学習上の重要事項について詳しく確認できるようにした。
- ・2～4部の導入には、中学校での世界史に関する学習内容や、「歴史総合」での学習内容を文章と図版で振り返る「中学校・歴史総合で学習した内容を思い出そう」を設け、これまでに学習した内容を踏まえて、これから学習する時代の考察ができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1部 世界史へのまなざし			
1章 地球環境からみる人類の歴史	A (1)	p.6-9	1
2章 日常生活からみる世界の歴史	A (2)	p.10-13	1
2部 諸地域の歴史的特質の形成			
複数の資料を読み解いて問いを表現しよう	B (1)	p.14-15	1
序章 古代文明の歴史的特質	B (2)	P.16-20	2
1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	B (3)	p.21-47	7
2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質		p.48-56	3
3章 西アジアと地中海周辺の歴史的特質		p.57-99	10
3部 諸地域の交流・再編			
複数の資料を読み解いて問いを表現しよう	C (1)	p.100-101	1
1章 ユーラシア大交流圏の成立	C (2)	p.102-134	8
2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	C (2), (3)	p.135-164	8
3章 主権国家体制の成立と交易の拡大	C (3)	p.165-191	8
4部 諸地域の結合・変容			
複数の資料を読み解いて問いを表現しよう	D (1)	p.192-193	1
1章 環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	D (2)	p.194-205	3
2章 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設		p.206-224	5
3章 世界の一体化の進展とアジアの変容		p.225-242	5
4章 世界の一体化の完成とその影響	D (3)	p.243-267	8
5章 世界大戦の時代	D (3), (4)	p.268-304	10
6章 戦後の国際秩序と冷戦	D (4)	p.305-311	3
5部 地球世界の課題			
1章 冷戦の展開と平和の模索	E (1)	p.313-327	4
2章 グローバル化する国際経済とその課題	E (2)	p.328-342	4
3章 情報と科学技術によって結びつく世界	E (3)	p.343-349	2
4章 地球世界の課題の探究	E (4)	p.350-351	10
計 105 時間			